

# 平成30年度予算見積調書

課室名：公園スタジアム課  
 担当名：公園計画・事業担当  
 内線：5399

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B19	公園等建設費			一般会計	土木費	都市計画費	公園費	公園等施設整備費	
事業期間	昭和62年度～	根拠法	都市計画法、都市公園法				宣言項目	04 地域をつなぐ社会基盤の整備	
							分野施策	051245 みどりの保全と再生	
<b>1 事業概要</b> 地域の特色を活かしながら県民のニーズに対応した公園整備を進めるとともに、誰もが安全で快適に利用できる公園施設の充実を図る。 (1) 公園等建設費 (2) 中長期修繕計画に基づく修繕費 (3) 熊谷スポーツ文化公園 (ヒートアイランド対策、おもてなし) (4) 所沢航空記念公園 (運動場人工芝化) (5) 未来への提案 (さいたま水上公園のリニューアル)				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容： ア 大宮公園外15公園の施設整備、改築・更新及び未整備公園の維持管理を行う。 452,154千円 イ 埼玉県庁舎・公の施設の施設マネジメント方針に定める中長期修繕計画に基づき、公園施設の長寿命化を図る。 1,005,023千円 ウ 公園の魅力アップを図る。 (ア) 熊谷スポーツ文化公園 (ヒートアイランド対策、おもてなし) 101,630千円 (イ) 所沢航空記念公園 (運動場人工芝化) 266,460千円 エ 未来への提案事業 (ア) さいたま水上公園 (リニューアル) 10,000千円 (2) 事業計画： ア 公園の利用状況や利用者からの意見などを踏まえ、公園の施設整備や改築・更新を行う。 イ 公園施設中長期修繕計画に基づき更新を行う。 ウ 公園のニーズに合った施設整備を行うことで魅力アップを図る。 エ Park-PFI等を活用し、公園の利活用の最大化を図る。 (3) 事業効果： ア 公園施設の整備や機能向上を行うことで、公園の利用者の満足度の向上や安全の確保が図れ、魅力ある公園利用が提供できる。 イ 公園施設の長寿命化を図ることができる。 ウ 魅力アップにより公園施設の利用拡大を見込むことができる。 エ 県営都市公園におけるビジネスモデルの先鞭をつけることができる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 利用者への影響の少ない時期に工事を実施するため、公園の利用実態を考慮し指定管理者等と工程調整等を行う。					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (県10/10)									
<b>3 地方財政措置の状況</b> 一般単独事業債 (充当率75%以内) 地域活性化事業債 (充当率90%以内)									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 98,800千円 (9,500千円×10.4人)									
<b>財 源 内 訳</b>									
予算額		国庫支出金	寄附金	繰入金	諸収入	県債	一般財源		前年との対比
決定額	1,835,267	10,000	100	4,630	85,000	1,638,000	97,537		△413,389
前年額	2,248,656			48,000	111,892	1,984,000	104,764		